

古河市小学校教育課程特例校（英語）教育課程編成の方針

1 特別の教育課程の概要

小学1年生から英語活動を導入し、英語に触れさせ、慣れ親しませ、人との豊かなコミュニケーション能力を高めるための素地を養う。

特別な教育課程を編成し、外国語指導助手（ALT）を活用しながらコミュニケーションを基盤にした英語活動を実施することで、児童の英語に対する興味・関心を高め、国際教育を推進していく。

【 低学年 】

- ・ 第1、2学年、1回45分（生活科の授業時数削減） 年間10時間
- ・ 主に学級担任と外国語指導助手（ALT）とのTT（ティーム・ティーチング）

【 中学年 】

- ・ 第3、4学年、週1回45分（外国語活動） 年間35時間
- ・ 主に学級担任と外国語指導助手（ALT）とのTT（ティーム・ティーチング）

【 高学年 】

- ・ 第5、6学年、週2回45分（外国語科） 年間70時間
- ・ 主に学級担任と外国語指導助手（ALT）とのTT（ティーム・ティーチング）

2 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

古河市では、「教育に関する大綱」を策定し、グローバル社会をリードする人材の育成、さらには、国際化、情報化に対応できる力を育成することを目指している。

その一環として、小学校、中学校9年間の切れ目のない外国語教育の充実のために、小学1年生からの英語活動を実施し、外国語教育の推進を図っていく。

3 令和5年度 古河市立釈迦小学校の方向性

市の方針を受け、本校においては「論理的に考え、表現する力を育成する授業」に重点的に取り組む。英語を用いて相手のことを理解したり、自分のことを伝えようとしたりする活動を通して、本校学校教育目標「よく考え、思いやりのある、元気な子の育成」を目指していく。